

③帝国大学学長・内務省土木技監・土木局長（1886-1898）

西暦	和暦	歳	古市の足跡	国内および土木
1886	明治 19	32	05.01 工科大学教授兼工科大学長（講義は河川運河港湾）。内務技師兼任で土木局勤務を命じられる。	03.02 帝国大学令公布 04.09 造家学会設立 07.12 内務省、土木監督官制を公布 12.18 信濃川堤防改築工事着工
1887	明治 20	33	04.07 中央衛生会臨時委員（市街清潔規則審議のため）。	02 日本土木会社設立 04 木曾三川分流工事着工 05.26 パルトン、来日 10.17 横浜近代水道、給水開始
1888	明治 21	34	05.07 古市（土木）他 4 名、本邦初の工学博士号を授与 09.01 東京市区改正委員 12.02 内務大臣山縣有朋の欧州諸国巡回に随行	02.06 工手学校開校 04.17 利根運河（江戸川 - 利根川）開削工事着工 08.17 東京市区改正条例公布
1889	明治 22	35	09.18 帰朝 12 フランス海軍海工監督官ルノーの「東京築港意見」を東京市区改正委員会に報告	02.11 大日本帝国憲法発布 05.06 パリでエッフェル塔完成（当時世界最高の構造物） 09.01 横浜港第一期築造工事着工 12.24 第 1 次山縣内閣成立
1890	明治 23	36	06.14 内務省土木局長。工科大学教授兼工科大学長は兼務となる 09.09 貴族院議員	02.12 水道条例公布 04.09 琵琶湖疎水完成 08.04 内務省、土木監督官の設置を公布 11.25 第 1 回帝国議会召集
1891	明治 24	37	東京近代水道、工事長 	05.31 露シベリア鉄道着工 09.01 上野-青森間鉄道全通 10.28 濃尾地震発生 12.18 田中正造、足尾鉾毒問題で議会に質問書提出
1892	明治 25	38	●-1 扁額「日進無疆」（姫路市教育委員会所蔵）	06.21 土木会規則公布。鉄道敷設法公布 06.27 震災予防調査会設置
1893	明治 26	39	06.13 治水、道路、築港の諮問機関、土木会委員	04.01 碓氷峠のアプト式鉄道完成 09 帝国大学に講座制の実施
1894	明治 27	40	06.22 内務省土木技監 07（技術官会議から）淀川修築。計画調査報告を提出	07.04 土木監督官設置を公布 08.01 日清戦争勃発
1895	明治 28	41		4.17 日清講和条約調印
1896	明治 29	42	07 大阪築港調査委員として修正意見報告を提出	03.14 信濃川河口修築工事着手 04.08 河川法公布される 05 淀川改良工事着工 07 信濃川で大洪水 横浜第一期築造工事竣工 12 笹子トンネル工事着工
1897	明治 30	43	03.24 足尾銅山鉾毒事件調査委員（11 月 27 日まで） 10.28 港湾調査委員	03.30 砂防法公布される 04.23（岩倉）鉄道学校設立 05 札幌農学校に土木工学科を設置 06.12 機械学会設立 6.22 京都帝国大学設立。理工学部土木工学、建築学科を設ける 10.17 大阪築港工事着工
1898	明治 31	44	07.19 願により土木技監兼土木局長兼工科大学教授兼工科大学長を免ぜらる 09 横浜税関拡張工事計画説明書を大蔵省に提出	06.30 大隈内閣成立 11.08 第 2 次山縣内閣成立
1899	明治 32	45	06 東京市長より東京築港調査・計画を委嘱 12 仙台湾築港意見を宮城県知事に提出	05 横浜税関第一期海面埋立工事着工 06.30 改正条約の実施（不平等条約解消）



●-2 「定紋入文箱」（姫路市教育委員会所蔵）